

株主のみなさまへ



株主通信

第96期中間期

平成14年4月1日～平成14年9月30日

日本軽金属株式会社
NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.



連結事業の概況 NLM Group at a glance

向から、日本軽金属グループを取り巻く経営環境は、今後厳しくなっていくものと予想されます。そうした状況下にあります、中間配当金につきましては、諸般の事情を勘案し、これを見送ることとさせていただきます。株主のみなさまには申し訳なく存じますが、ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

当社は、この10月1日に、押出・軽圧加工事三



押出・軽圧加工事業の分社化

これまで当社が行ってきた押出・軽圧加工事業 アルミニウム押出材の製造・販売、並びに仮設建設・産業資材製品、トラック関連製品などの軽圧加工製品の製造・販売を取り巻く経営環境は、以前にも増して厳しい環境下にあります。このような状況下において、将来にわたって安定した収益力のある事業とするためには、付加価値の高い押出加工分野への迅速かつ積極

東洋アルミ事業の分社化

当社は、平成11年10月の旧東洋アルミニウム(株)との合併に伴い、アルミ箔、アルミパウダー・ペーストの生産部門を統合し、経営思想・理念の一体化、開発、営業活動の連携を深め、シナジー効果を発揮してまいりました。

特に、アルミ箔分野とペースト分野ではトップシェアを有するなど、圧倒的な競争優位性を維持してまいりました。今後、この基盤を元に、さらなる競争力・収益力の強化を図るためには、製販一体体制による経営効率の向上が不可欠と判断し、平成14年10月1日付をもって会社分割（吸収分割）により東洋アルミニウム株式会社との事業統合を行いました。今後、東洋アルミニウム(株)では、製販一体化による競争力・収益力の強化により、平成14年度には売上高を679億円に、平成18年度には売上高795億円の達成を目指します。

分社後のグループ運営

当社は「グループ経営方針」のもと、グループ経営を基本とし、当社グループ連結での利益最大化を目指しております。

また、アルミニウムという共通の素材を通じ、横串活動や事業協力により相互補完的な関係をつくり、グループ内の経営資源をより有効に活用し、新製品・新技術の開発を行えることが日本軽金属グループの特色であり、強みでもあります。

したがって、今回の3事業についても、分社後もグループ一体運営の考え方に従い、今後も日本軽金属グループでの全体最適を目指した運営を行います。

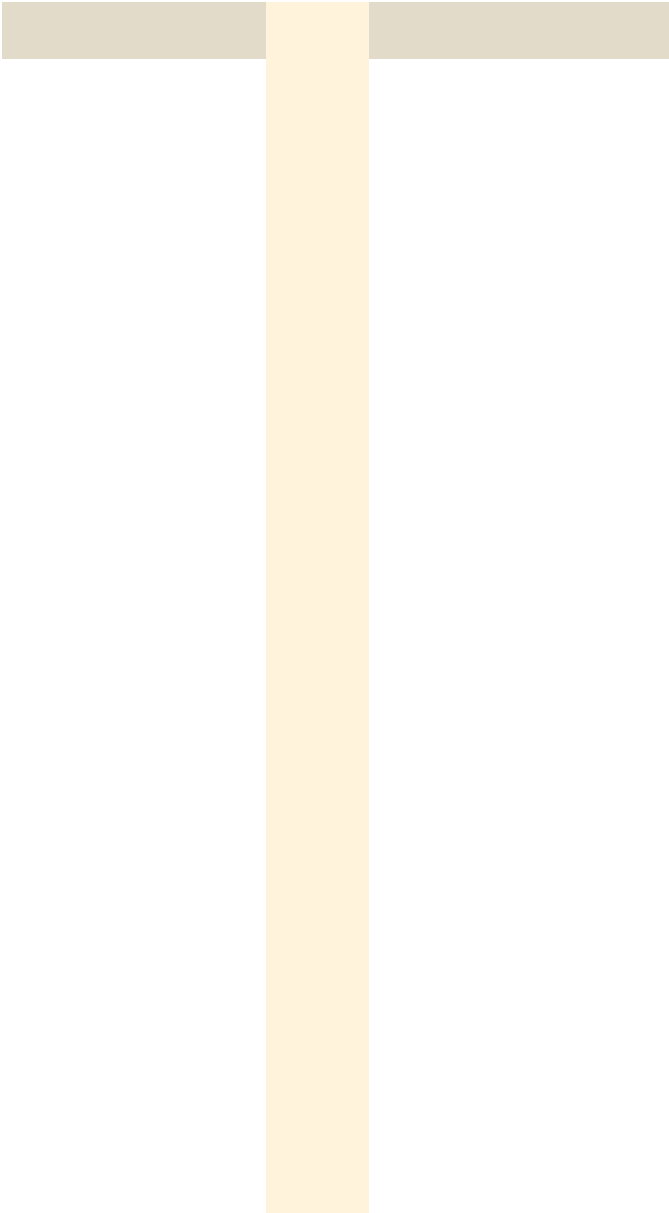
具体的には、中期経営計画の中でコミットメントする目標の達成、当社の経営会議のメンバーとしての参加や月次業績検察[※] 4

連結財務諸表

科目	平成14年 9月中間期	平成14年 3月期	増 減 (は減少)	平成13年 9月中間期	科目	平成14年 9月中間期	平成14年 3月期	増 減 (は減少)	平成13年 9月中間期
資産の部					負債の部				
流動資産	302,388	305,813	3,425	312,607	流動負債	310,914	334,732	23,818	325,303
現金及び預金	61,854	48,755	13,099	43,010	支払手形及び買掛金	96,766	112,569	15,803	116,457
受取手形及び売掛金	154,184	172,598	18,414	175,374	短期借入金	128,276	132,307	4,031	132,777
たな卸資産	72,507	73,381	874	79,717	一年内償還社債	40,000	47,000	7,000	37,000
その他	17,158	14,968	2,190	18,175	その他	45,872	42,856	3,016	39,069
貸倒引当金	3,315	3,889	574	3,669	固定負債	154,127	141,870	12,257	161,707
固定資産	248,162	258,474	10,312	260,653	社債	29,736	39,800	10,064	69,716
有形固定資産	191,305	196,681	5,376	199,026	長期借入金	93,335	70,765	22,570	58,375
建物及び構築物	66,489	68,074	1,585	69,275	退職給付引当金	20,938	20,042	896	19,145
機械装置及び運搬具	50,742	53,268	2,526	54,158	役員退職慰労引当金	1,263	—	1,263	—
工具器具備品	7,073	7,755	682	8,172	連結調整勘定	3,277	5,240	1,963	7,203
土地	65,095	64,784	311	64,074	その他	5,578	6,023	445	7,268
建設仮勘定	1,906	2,800	894	3,347	負債合計	465,041	476,602	11,561	487,010
無形固定資産	4,180	3,941	239	3,584	少数株主持分				
投資その他の資産	52,677	57,852	5,175	58,043	少数株主持分	4,296	4,371	75	4,615
投資有価証券	33,176	38,515	5,339	38,138	資本の部				
その他	27,677	27,380	297	28,043	資本金	39,085	39,085	—	39,085
貸倒引当金	8,176	8,043	133	8,138	資本剰余金	24,569	24,569	—	24,569
資産合計	550,550	564,287	13,737	573,260	利益剰余金	18,823	19,428	605	17,822
					土地再評価差額金	493	493	—	493
					その他有価証券評価差額金	702	324	378	657
					為替換算調整勘定	765	578	187	991
					自己株式	1,694	7	1,687	0
					資本合計	81,213	83,314	2,101	81,635
					負債・少数株主持分・資本合計	550,550	564,287	13,737	573,260

科目	平成14年 9月中間期	平成13年 9月中間期	増 減 (は減少)	平成14年 3月期
売上高	250,754	262,654	11,900	521,861
売上原価	200,382	211,744	11,362	419,189
売上総利益	50,372	50,910	538	102,672
販売費及び一般管理費	41,903	46,460	4,557	90,949
営業利益	8,469	4,450	4,019	11,723
営業外収益	3,988	3,762	226	8,325
受取利息	59	88	29	156
連結調整勘定償却額	2,024	1,963	61	3,926
持分法による投資利益	183	—	183	—
賃貸料	481	474	7	909
その他の営業外収益	1,241	1,237	4	3,334
営業外費用	7,811	7,043	768	15,243
支払利息	3,103	3,181	78	6,257
持分法による投資損失	—	208		





マツダ様の世界戦略エンジン向けアルミ合金供給を開始
新規開発合金と改良合金の生産量年間12,000トン超に

当社は、マツダ様が平成14年5月に発売を開始された
新型エンジン「SKYACTIV-D」の生産増産に合わせ、エンジン部品として、
船舶用エンジン向けに、高強度アルミ合金の供給を開始しました。



株主メモ

